

多様な動きをつくる運動遊び (第1学年)

多様な動きをつくる運動遊びは、体を動かす楽しさに触れるとともに、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをして、様々な基本的な動きを身に付ける運動遊びです。本単元例は、1時間の中で二つの運動遊びを設定することで、それぞれの運動遊びの行い方を知りながら、四つの基本的な動きを身に付ける運動遊びをして遊ぶことができる授業を展開するようにしています。

単元の目標

- (1) 多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知るとともに、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをして遊ぶことができるようにする。
- (2) 多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- (3) 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

指導と評価の計画〔14 時間（体づくりの運動遊びの 18 時間のうち）〕

時 間		1	2	3	4	5	6	7	
ね ら い		体ほぐしの運動遊びの学習の見通しをもつ	体ほぐしの運動遊びの行い方を知り、遊び方を工夫して、みんなで楽しく遊ぶ			多様な動きをつくる運動遊びの学習の見通しをもつ			
学 習 活 動		オリエンテーション 1 集合、挨拶、健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○学習のきまりを知る 3 本時のねらいを知り、めあてを立てる 4 場や用具の準備をする ○場や用具の準備や片付けの仕方を知る。 5 準備運動をする ○準備運動の行い方を知る。 6 体ほぐしの運動遊びをする ○体ほぐしの運動遊びの行い方を知る。 ○みんなで体ほぐしの運動遊びをする。	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいと学習内容を確認する 3 場や用具の準備をする 4 心と体の状態に気付く 5 準備運動をする 6 体ほぐしの運動遊びをする ○体ほぐしの運動遊びの行い方を知る。 ○みんなで体ほぐしの運動遊びをする。 ○体ほぐしの運動遊びの工夫の仕方を知る。 ○友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを伝える。	オリエンテーション 1 集合、挨拶、健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○学習のきまりを知る。 3 本時のねらいを知り、めあてを立てる 4 場や用具の準備をする ○場や用具の準備や片付けの仕方を知る。 5 準備運動、体ほぐしの運動遊びをする ○準備運動、体ほぐしの運動遊びの行い方を知る。 6 多様な動きをつくる運動遊びをする ○多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知る。 ○みんなで多様な動きをつくる運動遊びをする。	1 集合、挨拶、 4 準備運動、 5 体のバランス ○体のバランス ○みんなで体の ○体のバランス ○楽しくできる運動遊びをする ○友達のよい動える。 6 体を移動する ○体を移動する ○みんなで体を ○体を移動する ○楽しくできるをする。 ○友達のよい動える。				
		7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ					8 整理運動、場や用具の片付けをする		9 集合、健康観察、
		知識・技能		① 観察・学習カード				② 観察・学習カード	
評価の重点	思考・判断・表現		① 観察・学習カード	③ 観察・学習カード					
	主体的に学習に取り組む態度				① 観察・学習カード		⑤ 観察・学習カード		

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①体ほぐしの運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。 ②多様な動きをつくる運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。 ③体のバランスをとる動きをして遊ぶことができる。 ④体を移動する動きをして遊ぶことができる。 ⑤用具を操作する動きをして遊ぶことができる。 ⑥力試しの動きをして遊ぶことができる。	①楽しくできる体ほぐしの運動遊びを選んでいる。 ②楽しくできる多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 ③体ほぐしの運動遊びで、友達のよい動きを見付けたり、工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。 ④多様な動きをつくる運動遊びで、友達のよい動きを見付けたり、工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。	①体ほぐしの運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ②多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ③順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ④用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ⑤場の安全に気を付けている。

8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知り、遊び方を工夫してみんなで楽しく遊ぶ										学習のまとめをする
健康観察をする 2 本時のねらい知り、めあてを立てる 3 場や用具の準備をする										
体ほぐしの運動遊びをする										
をとる運動遊びをする をとる運動遊びの行い方を知る。 バランスをとる運動遊びをする。 をとる運動遊びの工夫の仕方を知る。 遊び方を選んで、体のバランスをとる運 きを見付けたり、考えたりしたことを伝				5 力試しの運動遊びをする ○力試しの運動遊びの行い方を知る。 ○みんなで力試しの運動遊びをする。 ○力試しの運動遊びの工夫の仕方を知る。 ○楽しくできる遊び方を選んで、力試しの運動遊びをする。 ○友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを伝える。				学習のまとめ 5 多様な動きつくる運動遊びをする ○楽しくできる多様な動きをつくる運動遊びを選んで遊ぶ。 ○選んだ遊び方を友達に紹介したり、友達が選んだ遊び方で遊んだりする。		
運動遊びをする 運動遊びの行い方を知る。 移動する運動遊びをする。 運動遊びの工夫の仕方を知る。 遊び方を選んで、体を移動する運動遊び きを見付けたり、考えたりしたことを伝				6 用具を操作する運動遊びをする ○用具を操作する運動遊びの行い方を知る。 ○みんなで用具を操作する運動遊びをする。 ○用具を操作する運動遊びの工夫の仕方を知る。 ○楽しくできる遊び方を選んで、用具を操作する運動遊びをする。 ○友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを伝える。				6 単元を振り返り、学習のまとめをする 7 整理運動、場や用具の片付けをする 8 集合、健康観察、挨拶をする		
挨拶をする										
		③・④ 観察						⑤・⑥ 観察		
	② 観察・ 学習カード						④ 観察・ 学習カード			
③ 観察・ 学習カード					④ 観察・ 学習カード					② 観察・学習カード

本時の目標と展開①（5／18時間）

本時の目標

- (1) 多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知ることができるようにする。
- (2) 楽しくできる多様な動きをつくる運動遊びを選ぶことができるようにする。
- (3) 場の安全に気を付けることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
5分	1 集合，挨拶，健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○学習をするグループを確認する。 ○学習のきまりを知る。 学習のきまりの例 ・用具は正しく使いましょう。 ・安全に気を付けて遊びましょう。 ・友達との間隔をとって遊びましょう。	● 掲示物を活用するなどしながら，分かりやすく説明する。 ● 学習をするグループを事前に決めておく。 ・誰とでも仲よく遊びましょう。 ・準備や片付けは，友達と一緒にしましょう。
	3 本時のねらいを知り，めあてを立てる 多様な動きをつくる運動遊びの学習の進め方を知り，学習の見通しをもとう ○本時のねらいを知り，自己のめあてを立てる。	● 学習カードを配り，使い方を説明する。
15分	4 場や用具の準備をする ○場や用具の準備と片付けの仕方を知る。 ○みんなで協力して，準備をする。 場や用具の準備の仕方の例 ・活動をする場に危険物がなにか気を付けて，見付けたら先生に知らせましょう。 ・遊びに使う用具は，決まった場所から使うものだけを取り，使い終わったら片付けましょう。 ・安全に運動遊びができるように服装などが整っているか，友達と確かめ合いましょう。 5 準備運動，体ほぐしの運動遊びをする ○準備運動，体ほぐしの運動遊びの行い方を知る。 ○みんなで準備運動，体ほぐしの運動遊びをする。 準備運動の行い方の例 肩，腕，手首，腿，膝，ふくらはぎ，足首などをほぐす運動を行う。 体ほぐしの運動遊びの行い方の例 体育館のラインなど線の上を歩いて移動する。 太鼓の音の数の人数で集まる。	● 安全な準備と片付けの仕方を説明する。 ● 安全に気を付けた準備をする様子を取り上げて，称賛する。 ● けがの防止のために適切な準備運動の行い方について，実際に動いて示しながら説明する。 ◎ 友達と関わり合うことに意欲的でない児童への配慮の例 ➡ ペアやグループで調子を合わせて動くことによって，気持ちも弾んでくることが実感できる運動遊びを準備したり，意欲が感じられる児童のつぶやきや動きを取り上げて共感したりするなどの配慮をする。

20分	6 多様な動きをつくる運動遊びをする ○多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知る。 ○みんなで多様な動きをつくる運動遊びをする。 多様な動きをつくる運動遊びの行い方の例 ○体を移動する運動遊び 8の字のコースをいろいろな進み方で進む。 ・歩いて進む。 ・這って進む。 ・ケンケンで進む。 ○力試しの運動遊び 友達をおんぶする。 ・おんぶをして立ったり歩いたりする。 ○体のバランスをとる運動遊び 片足でバランスをとる。 ・片足で立ち続ける。 ・上げた足を前後に動かす。 ○用具を操作する運動遊び ボールを両手でつかんで持ち上げたり回したり下ろしたりする。 ペアで向かい合ってボールを真っ直ぐ転がす。 ・教師の動作の真似をしてボールを上げたり回したり下ろしたりする。 ・友達と向かい合って転がす。	● 多様な動きをつくる運動遊びの行い方について，場を示したり，実際に動いて示したりしながら説明する。
5分	7 本時を振り返り，次時への見通しをもつ 本時の振り返り ・多様な動きをつくる運動遊びの行い方について，知ったことを発表したり書いたりしましょう。 ・単元の学習で身に付けたいことや楽しみたいことなど，自己のめあてを書きましょう。 ○振り返りを発表して，友達に伝える。 ● 振り返りを発表したり学習カードに記入したりするように伝えるとともに，気付きや考えのよさを取り上げて，称賛する。 ◆ 学習評価 ◆ 知識・技能 ② 多様な動きをつくる運動遊びの行い方について，言ったり実際に動いたりしている。 ➡ 多様な動きをつくる運動遊びの行い方について，発表したり学習カードに記入したりしていることを評価する。（観察・学習カード） ◎ 多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知ることが苦手な児童への配慮の例 ➡ 個別に関わり，行い方のポイントについて対話をしながら確認をするなどの配慮をする。	● 整理運動の行い方について，実際に動いて示しながら説明するとともに，けががないかなどを確認する。
	8 整理運動，場や用具の片付けをする 9 集合，健康観察，挨拶をする	

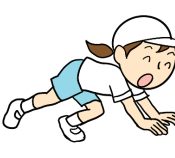
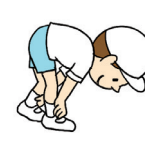
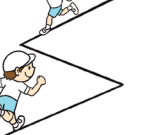
本時の目標と展開②（8／18時間）

本時の目標

- (1) 体のバランスをとる動きや体を移動する動きをして遊ぶことができるようにする。
- (2) 楽しくできる多様な動きをつくる運動遊びを選ぶことができるようにする。
- (3) 順番やきまりを守り、誰とでも仲よくすることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合，挨拶，健康観察をする 2 本時のねらいを知り，めあてを立てる	
	体のバランスをとる運動遊びと体を移動する運動遊びをして，みんなで楽しく遊ぼう ○本時のねらいを知り，自己のめあてを立てる。 3 場や用具の準備をする ○みんなで協力して，準備をする。 4 準備運動，体ほぐしの運動遊びをする ○みんなで準備運動，体ほぐしの運動遊びをする。	●学習カードを配り，立てためあてを記入するように伝える。 ●安全な準備の仕方を確認する。 ●けがの防止のために適切な準備運動を行うように，実際に動いて示しながら伝える。 ●学習した運動遊びの中から選んだ体ほぐしの運動遊びの行い方について，実際に動いて示しながら説明する。
15分	5 体のバランスをとる運動遊びをする ○体のバランスをとる運動遊びの行い方を知る。 ○みんなで体のバランスをとる運動遊びをする。 バランスをとる運動遊びの行い方の例 ○回るなどの動きで構成される運動遊び   ・片足を軸にして回転する。 ・跳び上がって回る。  ・しゃがんだ姿勢で手を合わせ，バランスを崩し合う。	●体のバランスをとる運動遊びの行い方について，場を示したり，実際に動いて示したりしながら説明する。
	体のバランスをとる運動遊びが苦手な児童への配慮の例 ➡ 回るなどの動きでバランスをとることが苦手な児童には，できそうなところに目印を置いて回ったり，軸になる足の位置に輪を置いたりするなど回りやすくなる場の設定をするなどの配慮をする。 ○体のバランスをとる運動遊びの工夫の仕方を知る。 ○楽しくできる遊び方を選んで，体のバランスをとる運動遊びをする。 体のバランスをとる運動遊びの工夫の仕方の例 ○回数や行い方を工夫する   ・連続で回転する回数に挑戦する。 ・逆向きに回る。   ○姿勢を変えて ・立った姿勢で ・片足立ちの姿勢で	●体のバランスをとる運動遊びの工夫の仕方について，場を示したり，実際に動いて示したりしながら説明する。 ●見付けたり考えたりしたことを伝えていることを取り上げて，称賛する。

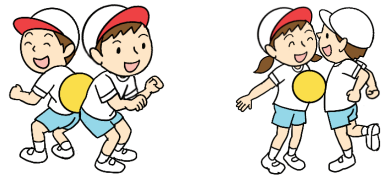
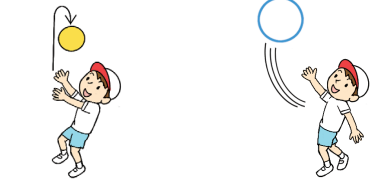
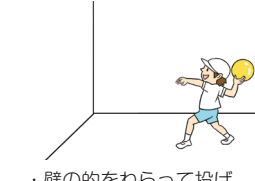
15分	6 体を移動する運動遊びをする ○体を移動する運動遊びの行い方を知る。 ○みんなで体を移動する運動遊びをする。 体を移動する運動遊びの行い方の例 ○這う，歩く，走るなどの動きで構成される運動遊び ・いろいろな進み方で移動する。    ・横向きに進む。(カニ) ・這って進む。(ワニ) ・足首をつかんで進む。(ヒヨコ)   ・いろいろな形態の走路を走る。 ・曲線の走路 ・ジグザグの走路	●体を移動する運動遊びの行い方について，場を示したり，実際に動いて示したりしながら説明する。
	○体を移動する運動遊びの工夫の仕方を知る。 ○楽しくできる遊び方を選んで，体を移動する運動遊びをする。 体を移動する運動遊びの工夫の仕方の例 ○進み方や場などを工夫する   ・楽しい進み方を工夫する。 ・楽しいコースを作って進む。   ○進み方を工夫する ・横向きや後ろ向きで進む。 ・出会ったところでじゃんけんをして遊ぶ。	●体を移動する運動遊びの工夫の仕方について，場を示したり，実際に動いて示したりしながら説明する。 ●誰とでも仲よくしようとしている様子を取り上げて，称賛する。 ◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ③順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ➡ 運動遊びをする際に，順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている姿を評価する。(観察) ◎順番やきまりを守ることに意欲的でない児童への配慮の例 ➡ 順番やきまりを守ることでみんなが安全に楽しく遊ぶことができることに気付くようにするとともに，守ることができたことを取り上げて称賛するなどの配慮をする。 ●見付けたり考えたりしたことを伝えていることを取り上げて，称賛する。
5分	7 本時を振り返り，次時への見通しをもつ 本時の振り返り ・楽しく遊ぶことができた運動遊びを，発表したり書いたりしましょう。 ・友達と仲よくできたことを，発表したり書いたりしましょう。  ○振り返りを発表して，友達に伝える。	●振り返りを発表したり学習カードに記入したりするように伝えるとともに，気付きや考えのよさを取り上げて，称賛する。 ●適切な整理運動を行うように，実際に動いて示しながら伝えるとともに，けががないかなどを確認する。
	8 整理運動，場や用具の片付けをする	
	9 集合，健康観察，挨拶をする	

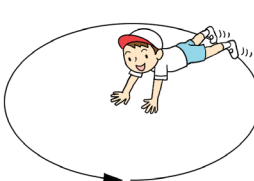
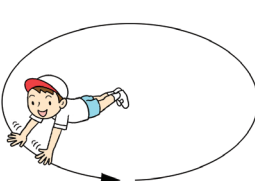
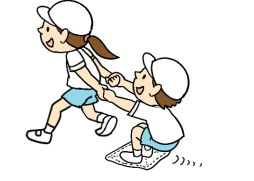
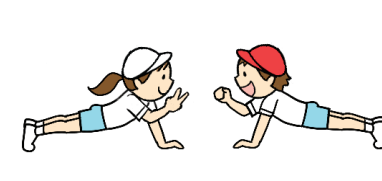
本時の目標と展開③ (13／18時間)

本時の目標

- (1) 用具を操作する動きや力試しの動きをして遊ぶことができるようにする。
- (2) 多様な動きをつくる運動遊びで、友達のよい動きを見付けたり、工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えることができるようにする。
- (3) 用具の準備や片付けを、友達と一緒にすることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを知り、めあてを立てる	
	用具を操作する運動遊びと力試しの運動遊びをして、みんなで楽しく遊ぼう ○本時のねらいを知り、自己のめあてを立てる。 3 場や用具の準備をする ○みんなで協力して、準備をする。 4 準備運動、体ほぐしの運動遊びをする ○みんなで準備運動をする。 ○みんなで体ほぐしの運動遊びをする。	●学習カードを配り、立てためあてを記入するように伝える。 ●安全な準備の仕方を確認する。 ●けがの防止のために適切な準備運動を行うように、実際に動いて示しながら伝える。 ●学習した運動遊びの中から選んだ体ほぐしの運動遊びの行い方について、実際に動いて示しながら説明する。
15分	5 用具を操作する運動遊びをする ○用具を操作する運動遊びの行い方を知る。 ○みんなで用具を操作する運動遊びをする。	●用具を操作する運動遊びの行い方について、場を示したり、実際に動いて示したりしながら説明する。
	用具を操作する運動遊びの行い方の例 ○用具を運ぶなどの動きで構成される運動遊び  ・二人組で体でボールを挟んで運ぶ。 ○用具を投げる、捕るなどの動きで構成される運動遊び  ・ボール、新聞紙で作った棒、フープなどを投げて捕る。	◎用具を操作する運動遊びが苦手な児童への配慮の例 ➡ ボールを投げたり捕ったりすることが苦手な児童には、新聞紙を丸めた球やスポンジのボールなど恐怖心を感じにくい用具を用いるなどの配慮をする。 ●用具を操作する運動遊びの工夫の仕方について、場を示したり、実際に動いて示したりしながら説明する。
15分	○用具を操作する運動遊びの工夫の仕方を知る。 ○楽しくできる遊び方を選んで、用具を操作する運動遊びをする。	
	用具を操作する運動遊びの工夫の仕方の例 ○競走をして遊ぶ  ・運ぶ距離を決めて競走をする。 ○いろいろな投げ方や捕り方をする  ・壁の的をねらって投げ、戻ってきたボールを捕る。  ・床に強く投げて、高く弾んだボールを待ち構えて捕る。	●見付けたり考えたりしたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。

15分	6 力試しの運動遊びをする ○力試しの運動遊びの行い方を知る。 ○みんなで力試しの運動遊びをする。	●力試しの運動遊びの行い方について、場を示したり、実際に動いて示したりしながら説明する。
	力試しの運動遊びの行い方の例 ○人を運ぶ、支えるなどの動きで構成される運動遊び 友達を引きずって運ぶ。  ・雑巾の上に乗った友達を引いて運ぶ。 腕立て伏臥の姿勢で自己の体を支える。  ・手を支点にして回る。  足を支点にして回る。	◎力試しの運動遊びが苦手な児童への配慮の例 ➡ 体を支える動きが苦手な児童には、肘を曲げずに手の平で床を押したり、目線を床と平行にしたりすることができるよう助言するなどの配慮をする。 ●力試しの運動遊びの工夫の仕方について、場を示したり、実際に動いて示したりしながら説明する。
5分	力試しの運動遊びの工夫の仕方の例 ○引き方や人数を工夫する  ・後ろ向きで引いたり、片手で引いたりする。 ・引く人数や引かれる人数を変える。 ○じゃんけんをして遊ぶ  ・勝敗の結果で回ったり、回り方を変えたりする。 	○友達の良い動きを見付けたり、考えたりしたことを伝える。 ●見付けたり考えたりしたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。
5分	7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ	本時の振り返り ・楽しく遊ぶことができた運動遊びを、発表したり書いたりしよう。 ・用具の準備の際に友達と一緒にできたことを、発表したり書いたりしよう。
	8 整理運動、場や用具の片付けをする	●振り返りを発表して、友達に伝える。 ●振り返りを発表したり学習カードに記入したりするように伝えるとともに、気付きや考えのよさを取り上げて、称賛する。 ●適切な整理運動を行うように、実際に動いて示しながら伝えるとともに、けががないかなどを確認する。 ◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ④用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ➡ 友達と一緒に用具の準備や片付けをしようとしている姿を評価する。(観察・学習カード) ◎準備や片付けを友達と一緒にすることに意欲的でない児童への配慮の例 ➡ 一人で準備や片付けをすることは危なかったり余計な時間がかかってしまったりすることを伝え、一緒にすることが大切であることに気付くようにするなどの配慮をする。
	9 集合、健康観察、挨拶をする	

本時の目標と展開④ (18／18時間)

本時の目標

- (1) 体のバランスをとる動き、用具を操作する動きをして遊ぶことができるようにする。
- (2) 多様な動きをつくる運動遊びで、友達のよい動きを見付けたり、工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えることができるようにする。
- (3) 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組むことができるようにする。

本時の展開

時 間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを確認する 多様な動きをつくる運動遊びの工夫した遊び方を紹介し合って、学習のまとめをしよう 3 〇本時のねらいを知り、自己のめあてを立てる。 4 場や用具の準備をする 〇みんなで協力して、準備をする。 - 準備運動、体ほぐしの運動遊びをする 〇みんなで準備運動をする。	● 学習カードを配り、立てためあてを記入するように伝える。 ● 安全な準備の仕方を確認する。 ● けがの防止のために適切な準備運動を行うように、実際に動いて示しながら伝える。 ● 学習した運動遊びの中から選んだ体ほぐしの運動遊びの行い方について、実際に動いて示しながら説明する。
25分	5 多様な動きをつくる運動遊びをする 〇楽しくできる遊び方を選んで、多様な動きをつくる運動遊びをする。 場の設定の仕方の例 体を移動する運動遊びの場 力試しの運動遊びの場 用具を操作する運動遊びの場 体のバランスをとる運動遊びの場 〇選んだ遊び方を友達に紹介したり、友達が選んだ遊び方で遊んだりする。	● それぞれの運動遊びに取り組む場について、その場所を示しながら説明する。 ● 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている様子を取り上げて、称賛する。 ◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ② 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ➡ 自分が選んだ多様な動きをつくる運動遊びをしたり、選んだ遊び方を友達に紹介したりする活動などに進んで取り組もうとしている姿を評価する。(観察・学習カード)
10分	6 単元を振り返り、学習のまとめをする 単元の学習の振り返り ・単元の学習で楽しかったことやできるようになったことを、発表したり書いたりしよう。 ・学習したことで、今後もし取り組んでいきたいとことを、発表したり書いたりしよう。 〇振り返りを発表して、友達に伝える。 7 整理運動、場や用具の片付けをする 8 集合、健康観察、挨拶をする	● 振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気づきや考えのよさを取り上げて、称賛する。 ● 適切な整理運動を行うように、実際に動いて示しながら伝えるとともに、けががないかなどを確認する。

多様な動きをつくる運動遊びの取扱い

【第1学年における指導と評価の計画(例)】

時 間		1	2～4	5	6～11	12～17	18
ね ら い		学習の見通しをもつ	体ほぐしの運動遊びを工夫して友達と楽しむ	学習の見通しをもつ	多様な動きをつくる運動遊びを工夫して友達と楽しむ		学習のまとめをする
学 習 活 動		オリエンテーション 〇学習の見通しをもつ ・学習の進め方 ・学習のきまり 〇体ほぐしの運動遊び - みんなで運動遊びをする	体ほぐしの運動遊び 〇体ほぐしの運動遊び ・自己の心と体の変化に気付く ・みんなで関わり合う 〇学習のまとめをする	オリエンテーション 〇学習の見通しをもつ ・学習の進め方 ・学習のきまり 〇多様な動きをつくる運動遊び - みんなで運動遊びをする	多様な動きをつくる運動遊び 〇体のバランスをとる運動遊び ・いろいろな運動遊びをする ・遊び方を工夫する 〇体を移動する運動遊び ・いろいろな運動遊びをする ・遊び方を工夫する	多様な動きをつくる運動遊び 〇力試しの運動遊び ・いろいろな運動遊びをする ・遊び方を工夫する 〇用具を操作する運動遊び ・いろいろな運動遊びをする ・遊び方を工夫する	学習のまとめ 〇多様な動きをつくる運動遊び - 楽しくできる運動遊びを選ぶ 〇単元のまとめをする
評 価 の 重 点	知識・技能	① 観察・学習カード		② 観察・学習カード	③・④ 観察	⑤・⑥ 観察	
	思考・判断・表現		①・③ 観察・学習カード		② 観察・学習カード	④ 観察・学習カード	
	主体的に学習に取り組む態度		① 観察・学習カード		③・⑤ 観察・学習カード	④ 観察・学習カード	② 観察・学習カード

【多様な動きをつくる運動遊びの単元の取扱い】

● 年間を通して指導すること

多様な動きをつくる運動遊びは、様々な基本的な動きを運動遊びを通して培うことをねらいとしていることから、本手引では、他の領域の各内容と比べて単元の時間数を多く設定しています。上記の計画を参考に授業を行う際は、学校の実態などに応じてある程度の時間で数回に分けて年間指導計画の中に位置付けるなどの工夫をしましょう。

【多様な動きをつくる運動遊びの内容の取扱い】

● 2学年間にわたって指導すること

小学校学習指導要領に『A 体づくりの運動遊び』については、2学年間にわたって指導するものとする。』とあるように、低学年の「多様な動きをつくる運動遊び」は、第1学年と第2学年の両方で指導するように年間指導計画を作成しましょう。

第1学年は、行い方が易しく、基本的な体の動きを幅広く培いやすい多様な動きをつくる運動遊びができるよう、本手引を参考にするなどして第1学年に適した運動遊びを選んで取り扱うようにしましょう。なお、体ほぐしの運動遊びと多様な動きをつくる運動遊びにおいて、取り上げる運動遊びが似通ってくることが考えられますので、各々のねらいを明確にして運動遊びの行い方を意図的に取り扱うようにしましょう。

● 将来の体力の向上につなげるため、基本的な体の動きを培うこと

体づくり運動系は、体力を高めるために行われる運動を取り扱う領域ですが、低学年においては発達の段階から体力を高めることを学習の直接の目的とすることは難しいことから、将来の体力の向上につなげていくために、基本的な体の動きを幅広く培うことができるようにしましょう。

● 運動と健康が関わっていることについての具体的な考えがもてるよう指導すること

多様な動きをつくる運動遊びに限らず、各領域の各内容については、体は活発に運動をしたり長く運動をしたりすると汗が出たり心臓の鼓動や呼吸が速くなったりすること、体を使って元気に運動することは体を丈夫にし健康によいことなど、運動と健康が関わっていることについて指導するようにしましょう。特に、多様な動きをつくる運動遊びは、基本的な体の動きを幅広く培う運動遊びをすることで結果的に体力の向上を図ることをねらいとしていることから、この指導をしやすい内容であると捉えて、児童が具体的な考えをもてるように指導するようにしましょう。

【多様な動きをつくる運動遊びの評価】

● 各領域と同じく、技能に関する評価規準を設定すること

多様な動きをつくる運動遊びの指導内容は、「知識及び運動」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」としています。これは、多様な動きをつくる運動遊びは、様々な基本的な体の動きを身に付けたり、動きの幅を広げたりすることが主なねらいであり、特定の技能を示すものではないことから、各領域と同じ「知識及び技能」ではなく、「知識及び運動」としているものです。

一方で、評価においては、各領域と同じく「知識・技能」の評価の観点に技能に関する評価規準を設定して、多様な動きをつくる運動遊びで培う様々な基本的な体の動きができることを評価しましょう。